

30 特別支援学校高等部 理療科 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 1 平成 21 年 3 月告示の特別支援学校高等部学習指導要領 理療 理療基礎実習 3 内容の取扱い (2) エ には、「きゅう基礎実技実習」の内容の範囲や程度についての配慮事項が示されています。どのようなことに配慮することが必要ですか。簡潔に書きなさい。
- 2 東洋医学の気について、次の 1～3 に答えなさい。
- 1 人体における気のうち、後天の気をさらに分類したものを何といいますか。3つ書きなさい。
 - 2 気は、人体の生命活動において、重要な作用を担っています。どのような作用がありますか。5つ書きなさい。
 - 3 気機が鬱結し、軽度な気の循環障害が起こった病態を気鬱といいます。その具体的な症状には、どのような症状がありますか。2つ書きなさい。
- 3 頭痛について、次の 1～4 に答えなさい。
- 1 はりきゅうの施術が適応となる頭痛はどれですか。次のア～オの中から選び、その記号をすべて書きなさい。
ア 脳腫瘍による頭痛
イ 筋収縮性頭痛
ウ 脳圧亢進による頭痛
エ 頭蓋部の神経痛
オ 頸椎の異常による頭痛
 - 2 片頭痛を発生させる頭蓋外動脈には浅側頭動脈があります。浅側頭動脈の走行上にある経穴は何ですか。4つ書きなさい。
 - 3 東洋医学的な考え方による頭痛の分類で、痰濁による頭痛があります。痰濁による頭痛の舌脈所見を書きなさい。
 - 4 群発頭痛について、生徒に分かりやすく説明することとします。群発頭痛の症状は、どのようなものですか。簡潔に書きなさい。
- 4 ホルモンについて、次の 1～3 に答えなさい。
- 1 多くのホルモンの血中濃度は概日リズムを示します。カテコールアミンの血中濃度の概日リズムは、どのようになりますか。簡潔に書きなさい。
 - 2 副甲状腺ホルモンは、何に作用して血中の Ca^{2+} 濃度を増大させますか。次のア～オの中から 2つ選び、その記号を書きなさい。
ア 肝臓 イ 腎臓 ウ 骨 エ 心臓 オ 筋
 - 3 副腎皮質から分泌されるアルドステロンは、レニン-アンジオテンシン系により分泌が調節されています。アルドステロンの分泌調節はどのような調節ですか。「糸球体近接細胞」の言葉を用いて書きなさい。

30 特別支援学校高等部 理療科 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 5 鍼の刺法と刺鍼中の手技について、次の1～4に答えなさい。
- 1 現行17手技のうち、随鍼術とはどのような手技ですか。簡潔に書きなさい。
 - 2 現行17手技のうち、抜鍼困難時に使用する手技は何ですか。2つ書きなさい。
 - 3 「黄帝内経」靈枢官鍼篇に記載されている古鍼法において、各経脈の上部に存在する六腑の病に際し、膝から下に存在する下合穴に刺鍼する刺法は何ですか。書きなさい。
 - 4 「黄帝内経」靈枢官鍼篇に記載されている古鍼法において、五臓に應ずる五刺の法のうち、脾に應ずる刺法は何ですか。書きなさい。
- 6 「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」についての条文として、正しいものはどれですか。次のア～エの中から選び、その記号をすべて書きなさい。
- ア 第3条の2 都道府県にあん摩マッサージ指圧師名簿、はり師名簿及びきゆう師名簿を備え、それぞれ、あん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゆう師のあんま師マッサージ師指圧師免許、はり師免許又はきゆう師免許に関する事項を登録する。
- イ 第4条 あん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゆう師は、外科手術を行い、又は薬品を投与し、若しくはその指示をする等の行為をしてはならない。
- ウ 第5条 あん摩マッサージ指圧師は、医師の同意を得た場合の外、脱臼又は骨折の患部に施術をしてはならない。
- エ 第6条 はり師は、はりを施そうとするときは、はり、手指及び施術の局部を消毒しなければならない。
- 7 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師は、免許を受けて施術を行っていることの社会的責任の大きさを十分に理解するとともに、施術者として医療の一端を担っているという心構えが必要です。施術者に望まれる条件にはどのようなものが考えられますか。5つ書きなさい。
- 8 次の資料は、「理療臨床実習」の授業において、3人の生徒が治療院に来院した患者について、治療計画を立てるために話し合っている場面を示しています。資料を読んで、下の1・2に答えなさい。

資料

生徒A：「まず、はり治療の適応か不適応か判断しましょう。」

生徒B：「筋筋膜性の腰痛だから適応だと思います。」

生徒A：「なぜ、筋筋膜性の腰痛だと分かるのですか。」

生徒B：「触診したら、筋が緊張しているし、体を捻じったり、後ろに倒したりしたら痛いと言われているからです。」

生徒A：「分かりました。」

生徒C：「筋筋膜性の腰痛と判断するのは早すぎると思います。なぜなら、(A)です。」

生徒B：「では、筋筋膜性の腰痛と判断するには、どのような所見をみる必要がありますか。」

生徒C：「(B)をみる必要があります。」

- 1 話し合いにおける生徒Cの発言中の(A)に入る適切な内容は何ですか。話し合いにおける発言を踏まえて、簡潔に書きなさい。
- 2 話し合いにおける生徒Cの発言中の(B)に入る適切な内容は何ですか。簡潔に書きなさい。

30

特別支援学校高等部 理療科 解答用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
1		
2	1	
	2	
3		
3	1	
	2	
	3	
4	1	
	2	
	3	

30

特別支援学校高等部 理療科 解答用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
5	1	
	2	
	3	
	4	
6		
7		
8	1	
	2	